

臨床研究 「虚血性心疾患に伴う心室頻拍に関する電気生理学的特徴およびカテーテルアブレーション治療」について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

心臓にご病気をお持ちの患者さんの場合、心室期外収縮や心室頻拍と呼ばれる不整脈が生じることがあり、ときに致死性不整脈と呼ばれる生命に危険を及ぼす危険な不整脈へと移行することがあります。このような不整脈を引き起こす可能性がある心臓の病気に心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患が挙げられます。本研究は、虚血性心疾患に由来する心室不整脈に焦点を絞り、これらの心電図の特徴、カテーテルアブレーション中の電気生理学的特徴の評価、カテーテルアブレーション治療の有効性などについて研究します。この研究を進めることで虚血性心疾患に由来する心室不整脈をより効果的に治療できるようになることが期待されます。

② 研究対象者

2004年11月1日から2024年10月31日までの間に、心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患に由来する心室不整脈に対してカテーテルアブレーション治療を施行した患者さんが研究対象となります。また、場合によっては比較的同じ時期に治療を行った拡張型心筋症や心サルコイドーシスといった非虚血性心疾患や器質的心疾患を持たない疾患の心室不整脈に対してカテーテルアブレーション治療を施行した患者さんの検査結果に関する特徴と比較することで、虚血性心疾患に伴う不整脈の特徴を検討いたします。

③ 研究期間

研究期間は当院の倫理委員会承認後から2026年3月31日までです。

④ 研究の方法

研究対象となる患者さんの診療記録を用いて、不整脈の特徴やアブレーション治療の成績を調査します。

⑤ 試料・情報の項目

過去の診療記録から下記の項目を調査します。

- ・診断病名
- ・年齢、性別、治療日、自覚症状、既往歴、手術歴（心臓カテーテル治療を含む）、現疾患（糖尿病、高血圧、高脂血症、慢性腎不全、心不全の有無）、治療内容（アブレーション治療時に記録されたデータを含む）など
- ・12誘導心電図（洞調律中および心室不整脈時）
- ・心エコー（左室駆出率,左室径,弁膜症の有無など）
- ・来院時と治療後の内服薬、治療後経過と転帰

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：筑波大学附属病院 医学医療系 循環器内科 山崎 浩

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 利益相反について

臨床研究における利益相反とは「主に経済的な利益関係により、公平、公正、中立的な立場での判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態のこと」を指します。本研究の目的は使用されたカテーテル等医療機器の評価ではありませんが、この研究を担当する医師の中にはカテーテルを販売する企業からの寄付講座に所属する医師もいます。利益相反状態にある研究者の本研究における役割は、研究対象者に対して施行されたカテーテルアブレーション治療に携わったこと、それに関連する診療記録の記載を過去に行ったことであり、本研究のデータ収集や統計解析には一切関与しません。また、このことについては当院の利益相反委員会および倫理審査委員会で適切に審査を受けております。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 循環器内科 山崎 浩

住所：〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-3143

FAX：029-853-3143

問い合わせの対応可能時間：平日 9時から 17時まで